

# 大阪府支援教育研究会 豊能支部

◎豊能支部では、毎年春と秋に講演会を実施しています。

《春の講演会》 6月14日(金)

『国の動向をふまえた大阪府の支援教育の現状と課題』

山野 哲也 氏(大阪府教育庁教育振興室支援教育課指導主事)

1.大阪府の現状と課題 2.新学習指導要領より 3.これからの支援教育に求められること ~国事業の成果より~ の3つについて講演いただきました。

「大阪府教育振興基本計画における後期事業計画(2018~2022)」の基本方針が「障がいのある子ども一人ひとりの自立を支援します」というものであり、文部科学省が「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進」をうたっている中、支援教育の視点を盛り込んだ学級経営ビジョンをたてる必要がある。そのためには、教職員の共通理解と主体的な推進体制が図れる校内組織づくりと支援教育コーディネーターの果たす役割が大きい。

《秋の講演会》 10月7日(月)

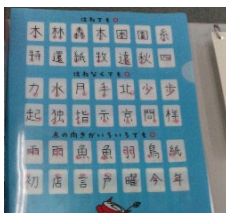
『支援教育の視点を生かした授業づくり・集団づくりに向けて』

——『富小スタンダード』等、明日から役立つ具体的支援を実践から学ぶ——

松本 竜彦 先生(富田林市立富田林小学校 支援教育コーディネーター・通級指導担当)

1.発達障がいについて 2.本校の取組み ビジントレーニングの紹介  
3.通級指導教室の取組み 4.指導例 5.まとめ という流れで講演いただきました。

目の前にいるのは「周囲を困らせている子」ではなく、「困っている子」である。彼らは何かしらの『症状』『特性』を持っているが、適切な関わり方、よい環境の中では、個性として力を発揮する。まずは、学校環境チェックから始めよう。先生の声かけ・伝え方・声の大きさはどうか、教室は刺激が少なくきれいか、どの子もわかる授業内容になっているか——子どものせいではなく、私たちのせいかもしれない。そして、児童の実態把握から困っているかを理解して手立てを打つことが大切で。特性が個性と言えるように、早期から適切な関わりを目指していきたいものである。



たくさんの教材も  
紹介して  
いただきました。

## 支援教育研究会

年9回の研究会を実施しています。今年度は、石塚謙二先生・豊中・中津・箕面支援学校リーディングスタッフの先生方をアドバイザーに来ていただき、「個別の支援計画について」各校の意見交流を行いました。それを元に、町内の個別の指導計画様式の統一を行いました。